

2023年10月吉日

## 2023年度 東北大学 PFFP(大学教員準備プログラム)募集要項

Tohoku University Preparing Future Faculty Program

主催:東北大学 高度教養教育・学生支援機構

現代の大学教員は、研究、教育、管理運営、社会貢献など幅広い役割をこなさなければなりません。しかし、大学院での指導は主に研究能力の形成が中心となっており、教育能力を形成する機会は十分ではありません。

あらためて言うまでもなく、教育活動には、授業設計や効果的な教授法、授業の運営、学生指導、成績評価など様々な知識やスキルが求められます。しかしながらほとんどの大学院生は、大学教育に関する基礎的な知識や技術を身につける機会がないまま教員となり、実際の教育活動を体験することによってしか学ぶ機会がないというのが実情です。近年の大学教授職の就職には、面接のほかシラバスの提出や模擬授業の実施が求められることも多く、事前に一定の教育能力を有していることが前提となっている場合も少なくありません。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構では、教育関係共同利用拠点事業として、2010年度より「東北大学 大学教員準備プログラム(Tohoku U. PFFP)」を実施してきました。このプログラムは、大学教員を目指す大学院生が大学教員に求められる能力や知識を実践的に学び、効果的な省察力を身につけ、円滑に初期キャリアを積んでいく事を支援するものです。プログラム修了者には修了認定書を授与しており、同認定書はアカデミック・キャリア公募の際、大学での教育経験を示す証明として、履歴書等に記載・添付することが可能です。2021年度からは、従前のプログラムに比べて期間を大幅に短縮し、内容も一新しました。加えてオンラインと対面とを組み合わせることで、大学院での研究活動に支障をきたすことなく、より効果的な内容を、短時間で習得できるプログラムへと改善して提供しています。2022年度は日本全国から43名の応募があり、38名が受講・修了して、幸いにも高い評価を得ることができました。

この度、教育関係共同利用拠点としての役割に鑑み、広く日本全国の大学院生を対象に本プログラムを開講することといたしました。プログラム受講を通して、大学教員としてのスタートに必要な知識・スキルが効果的・効率的に身につくことが期待できます。また大学教員を目指す他大学大学院生との交流は、日常では経験が困難な、貴重な経験となり、それは大学教員としての就職の際に大きく役立つものと思われます。

大学教員を目指す全国の大学院生やポストドクトラルフェローといった方々の積極的な受講をお待ちしています。

### プログラム内容の詳細や関連する情報について

下記 URL にてプログラム内容の詳細や関連する情報を公開しております。ぜひ御覧ください。なお過年度実施分や今年度前期実施分とはプログラムの内容や提供形態が大きく異なります。この点、ご注意ください。

大学教育支援センターウェブサイト

<http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/>



## 1. プログラムの概要

回	日程・形態 <sup>※1</sup>	内容 <sup>※2</sup>
第1回	1/25(木) オンライン	【午前】イントロダクション, 大学・高等教育の現在
		【午後】学生理解・教授法・授業設計論・評価①
第2回	1/26(金) オンライン	【午前】評価②(ルーブリックの作成)
		【午後】シラバスとクラスデザインの作成 「授業」のあり方の再考
-	1/27-31(土～水) <sup>※3</sup>	シラバスとクラスデザインの提出・模擬授業準備・移動日
第3回	2/1(木) 対面 <sup>※4</sup>	【午前】シラバスとクラスデザインの検討
		【午後】模擬授業の実施と評価① 懇親会(予定) <sup>※5</sup>
第4回	2/2(金) 対面 <sup>※4</sup>	【午前】模擬授業の実施と評価②
		【午後】学習内容のふりかえり アカデミックキャリアを目指すにあたって 修了認定書交付式

### 【履修上の注意】

プログラムの詳細や、2日目以降の事前・事後学習等については、初回授業時に連絡します。

※1 第1回～第4回を通じて、午前は10-12時、午後は13-17時です(途中休憩有り)。使用するオンラインツールは、受講者に別途ご連絡します。

※2 プログラム内容の一部は、変更する場合があります。その際は、あらかじめ受講者にお伝えします。

※3 1/27-31(土～水)は、模擬授業準備期間および移動日としており、プログラム自体はありません。

※4 東北大学川内キャンパスでの実施を予定しています。教室等は第1回授業時にご連絡します。

※5 参加は任意。詳細は受講者に事前にお知らせします。

※6 公募書類の作成や面接での一般的な注意事項について確認します(予定)。

### 【修了要件・修了証】

すべての活動に参加し、要件をクリアした受講者には「東北大学PFFP 大学教員準備プログラム修了認定書」を発行します。同認定書はアカデミック・キャリア公募の際、大学での教育経験を示す証明として履歴書等に記載・添付することが可能です。なお本プログラム修了者には、修了認定書とは別に「東北大学オープンバッジ」を発行します。

※「東北大学オープンバッジ」の詳細はこちら

「東北大学オープンバッジの導入による学修成果の可視化」(2022年7月21日)

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2022/07/press20220721-01-badge.html>

### 【使用言語】

日本語を使用します。

### 【受講料その他経費】

受講料 9,000 円

東北大学PFFP(大学教員準備プログラム)4日間の受講料です。受講決定通知後、2024年1月12日(金)までに指定口座へお振込み願います。なおお振込みいただいた受講料は、プログラム途中辞退を含め一切返金いたしません。

その他(宿泊費・交通費等)

2/1-2 両日の対面授業に際して宿泊費・交通費等が発生する場合は、自己負担となります。



### ご検討のお願い

東北大学 PFFP(大学教員準備プログラム)では、プログラムの継続性および今後の大学経営のあり方に鑑み、学内規定に基づく受講料を徴収しています。プログラム参加に際しては、宿泊費・交通費・滞在費等が含まれるため、個人が負担する金額としては少なくない金額となります。これからの大学教員にとって教育能力の開発は、研究能力の向上と同様に重要です。教育関係共同利用拠点として教育能力の開発に努めますので、本プログラムの受講を希望する大学院生等が所属する機関の皆様方におかれましては、受講料その他経費についての機関・研究室等でのご支援をご検討いただけますと幸甚です。

## 2. 受講者資格

原則として大学教員志望の大学院博士課程後期の学生(進学予定の学生も含む)、日本学術振興会特別研究員、ポスドク、専門研究員などで、東北大学川内北キャンパスで実施される本プログラムに不都合なく参加できる者。国籍は問わないが日本語での参加に支障のないもの。

### 注意

原則として本プログラムのすべてに参加していただく必要があります。やむを得ない場合は欠席を認める場合もありますが、その場合には代替の課題が課されます。また、不参加が多い場合は修了が認められない場合があります。また研究活動に支障をきたすことが無いよう、受講に際しては指導教員の許可を必ず得るようにしてください(受講決定後、指導教員の同意書を提出していただきます)。

## 3. 募集人数

24名程度 \*最少催行人員8名

## 4. 募集期間・方法

2023年11月1日(水)～2023年12月11日(月)

東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センターのウェブサイトから「大学教授法開発論／大学教員準備プログラム」をクリックし、「2023年度 東北大学 PFFP 受講者募集」の順でお進みいただき、「2023年度 東北大学 PFFP 募集要項」の「申請はこちら」よりエントリーください。

## 5. 受講者の決定

エントリーフォームにご記入いただいた内容をもとに受講者を決定させていただきます。結果は、2023年12月15日(金)までに登録いただきました連絡先に通知いたします。なお募集人数を超過した場合のみ、エントリーフォームの入力事項を総合的に判断して、受講者を選考させていただきます。ご理解の程お願い申し上げます。

## 6. その他

プログラム修了後も修了生として、積極的に広報や運営などにご協力いただける方の応募をお待ちしております。

## 7. 連絡先

東北大学高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター

担当:塚部

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41 (川内北キャンパス 川北合同研究棟 201)

TEL: 022-795-4471 (9:00-15:45) FAX: 022-795-4749

Email: tu-pffp@grp.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.ihe.tohoku.ac.jp/CPD/pffp/>

